

決定！令和2年度 魅力ある県立学校づくり大賞

このたび、令和2年度顕彰校を決定しました。最優秀賞は飯高特別支援学校、特別賞は多古高等学校で、共にコミュニティスクールとしての取組が評価されました。また優秀賞8校も、新型コロナウイルス感染防止の中、職員・生徒が知恵をしぼった取組等が評価されました。

最優秀賞 飯高特別支援学校

本県初の特別支援学校コミュニティスクールとして、地元出身生徒が少ない中、児童生徒と職員が一丸となって地域美化や防災、交流活動等に取り組み、地域に溶け込んでいる。コミュニティカレンダーの発行や地域参画系の設置など「地域と共にある特別支援学校」の先駆け、他の特別支援学校の模範として高く評価できる。

特別賞 多古高等学校

人口減少地域の高校という厳しい現実に果敢に挑み、コロナ禍でも、マスクケースの製作、鯉のぼりの掲揚、防災無線での呼びかけ・演奏などで町民を元気づけ、高等学校コミュニティスクールとして、他の高校のモデルになる活動である。町総合計画策定へのワークショップ参加や意見交換会へも積極的に参加している。

優秀賞

- 東金特別支援学校 生徒考案の「パラ・スポ クイズ」、児童生徒の「オリ・パラ推進隊」、ボッチャ体験会をオンラインで開催するなど、コロナ禍においても成果をあげ、多くの報道機関に取り上げられている。
- 東金商業高等学校 コロナ禍におけるオンライン授業、生徒会による学校紹介動画の作成、高校生による地域インターネットメディア局でのオンライン番組など独自性が高い。「紙ストロー」関連の取組も評判が高い。
- 大原高等学校 「無限の海をつくる」をテーマに稚魚の養殖と放流により栽培漁業に力を入れている。潜水技術による水中放流により稚魚の生存率を高め、漁業組合との連携、小学生向けの教室なども行っている。
- 千葉南高等学校 コロナ禍においても、部活動や学校行事等を工夫して実施している。あらゆる面で粘り強い努力や創意工夫がなされており、積極的な広報活動など「あきらめない姿勢」が素晴らしい。
- 印旛特別支援学校 とかく様々な体験が不足しがちな児童生徒に対し、近隣の大学と連携し「目指せアウトドアの達人」をテーマに自然体験活動などの取組を行い、中長期的な計画を立て持続可能な学習となっている。
- 湖北特別支援学校 歴史の浅い高等部のみの特別支援学校としての課題認識と取組が明確で、小中学校や市役所等との連携した取組など地域に愛される学校づくりに積極的に取り組んでいる。校長日誌も充実している。
- 千葉女子高等学校 300本を超える学校独自の動画配信授業、文化祭・体育祭のオンライン開催など、いち早くオンライン化に取り組んだ。ノートのみを画像に投影するという、斬新なアイデアも印象に残る。
- 東葛飾高等学校 伝統となった生徒の自主的な研究活動と「リベラルアーツ講座」の充実に努めている。「医歯薬コース」の専門性も高め、大学との連携も含め各種の取組は極めて高い水準にあり充実している。

応募28校の取組・記録写真は、教育庁ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/miryoku/koukou/miryoku-r02.html>